



三寶寺寺報 第一八一号
 二〇〇三年六月一日発行
 発行人 目崎 薫(三寶寺住職)
 伊勢原市沼目三 十二二
 TEL 0463 933 323
 FAX 0463 933 545
 購読料 年三〇〇〇円(年・送料込)
 郵便振替口座 一〇二〇〇六一〇五八三二
 〒259-1126

ナマス アミタ アーユス ブッドハ
 南無阿弥陀(寿)仏
 音 訳
 namas + amita + ayus + buddha

私は礼拝する
 アーユスを称えれば
 めでたき^{アミタ}寿のいのち
 つかわされた
 私がわかる
 ナマスで手を合せれば
 自然に礼拝ができて
 目^め覚^ざめた
 私にきこづく

お釈迦様の考えは、人々の救済の実践である。四万八千の法門の中の発展として阿弥陀如来を合掌・礼拝・称名するその人の意識というものを「慈悲」の働きで見そなわし、「智慧」に転換させる。また、「信は莊嚴より生ず」を示し、願主、結縁者、仏師、仏具店のいろいろなつながりで段々具現化されてゆく。そして、その「信」は真実の教えに出会って「智慧」と力強く結びついてゆく。
 まずは手を合わせて信ある莊嚴をこの身にもあらわしてゆきましよう。

合掌

三寶寺掲示板 六月
 いつも
 見そなわされています
 いつも
 与えられています